

比嘉さんの うらそえ おすすめスポット

【上原鮮魚店】

昭和25年から続く、屋富祖大通りの魚屋さん。昔懐かしいレトロな雰囲気の店内は昭和民謡が流れ、店の看板夫婦のダジャレでお客さんを笑顔にします。もちろん、真面目におすすめの魚や調理法などを教えてくれて、会話を楽しんでいるうちにあっという間に持ち帰りの刺身が出来上がり！一度は行ってみる価値あり！



1 元氣と笑いがモットーの上原夫妻 2 美味しくてリーズナブルな500円握り寿司も大人気 3 県内外で獲れた新鮮な刺し身



特にこし、
酢味噌和え ▶
500円



店舗情報

- 住所／浦添市屋富祖3-3-3
- 電話／☎(878) 9627
- 定休日／旧盆のウークイの翌日と1月2日・3日
- 営業時間／午前10時～午後8時

上原鮮魚店 浦添 Q

※ホームページやSNSはありません。インターネットなどで検索してください。

“うらそえWORKER” 募集しています！

あなたの周りのうらそえWORKERを募集中です。自薦・他薦は問いません。メールまたはハガキに氏名、年齢、職場名、連絡先、PRポイントを記入の上、国際交流課広報聴係までお送りください。

【送付先】
〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
E-mail:kouhou@city.urasoe.lg.jp

▼応募フォーム



1 依頼先に入るときは必ず故人に線香をあげます 2 床の下にも汚れが染みていないか確認中 3 消毒用、有機ガス用など用途に応じたマスクを用意

office 双葉
詳しくはこちら▶



仕事もプライベートも含めた、人生楽しむ秘訣！

比嘉さんに 3つの質問

Q1 趣味はありますか？

A 音楽が好きでずっと聴いています。今の仕事をしてからはあまり行けていませんが、フジロックなどの臨場感が楽しめるフェスなどは最高です。最近B'zのライブチケットがハズれてしまいショックです。

Q2 休日はどう過ごしていますか？

A 仕事柄、緊急の依頼電話などが多いので、休みの日も仕事のことで頭がいっぱいですが、たまに子どもの野球チームでコーチのお手伝いをしています。仕事で行き詰まった時は、愛犬をよく撫で回しています。毎日散歩も行っていますよ。



◀比嘉さんに撫でられて愛犬サンちゃんも幸せそう。

Q3 好きな言葉は？

A 「雨垂れ石を穿つ」です。コツコツ積み重ねたことが、いつかは大きな成果になると信じています。



うらそえ WORKER 浦添で働く人

vol.11

「事件現場特殊清掃・遺品整理士」

株式会社 office 双葉 代表

比嘉 計さん(32歳)

いつの日か、遺品整理や特殊清掃という仕事がなくなることを願う。

どんな仕事ですか？

孤独死や自死があった部屋の清掃と回復作業を主に行っています。その他にも火災現場のすす落としや、ゴミ屋敷の清掃、遺品整理なども行っています。

遺品整理は残された遺族の負担になることもあるので、少しでも遺族の負担を減らすと同時に、悔いの無い余生を送ってほしいという思いから、身の周りの整理をおすすめする生前整理セミナーも開いたりしています。

特殊清掃を始めたきっかけは？

私が小学生の頃、実家のお墓が土砂崩れで流れたことがあり、土の中に埋まった骨壺を父と一緒に掘り起こし、素手でお骨を洗ったことがあります。怖がらずに父を手伝う私を見て、変わった子だねと母は言いました。中学生の時におじが亡くなった際、遺体をてきぱきと着替えさせたり、化粧を施す納棺師の仕事ぶりに感動して憧れを抱き、仕事として葬儀社を選びました。

就職した葬儀社は、警察と提携している会社だったので、実際に鑑識のひとと一緒に現場へ出向き、遺体を家族の元へ

今まで辛かった経験は？

私と同じ世代の自死の現場清掃です。故人の学生時代の思い出の写真などを見るとやるせない気持ちになります。遺品の整理が手に付かない程に辛かったですね。

これから挑戦したいことは？

孤独死をゼロにする活動を広めることです。特に浦添はまだ地域のコミュニティが生きていると思っています。一人の人が少しでも周囲を気にかけることで孤独死を減らせると期待しています。私の生まれ育った浦添で孤独死やゴミ屋敷問題を減らせるよう努めています。